

No.	令和2年度事業計画 〔具体的な事業計画(目標)〕	計画の達成度				目標達成に向けての課題等
		順調	ほぼ順調である	やや遅れている	遅れている	
1	「継続した安定経営」			○		<p>・令和2年度においては、1年以上想定していない新型コロナウイルスの影響が大きく、新型コロナウイルス関係の補助金の交付がなければ大きなマイナスとなっています。補助金交付で法人全体の収支状況はプラス計上です。法人全体の活動収益は前年度の約98.6%と減収となります。医療関係の病院においては神栖・東村山支部とも、新型コロナウイルスの影響が非常に大きく、医業事業収入は大きな減収となります。介護福祉関係は、新型コロナウイルスの影響があり、ほとんどの施設がマイナスとなっています。今後は、新型コロナウイルス感染症に対する対策が必要となります。</p> <p>法人全体で令和元年度及び令和2年度もプラスとなりましたが、特に令和2年度は補助金の交付があったことでプラスとなったために、継続した安定経営とは言えない。</p>
	①継続した収入の確保			○		<p>・令和2年度は医療関係・介護施設とも新型コロナウイルス関係の補助金の交付があったことにより黒字経営となっています。そのため継続した収入の確保ができていない状況にあります。今後も継続した収入の確保をめざし、地域に根付いた施設として取り組んでいきたい。</p>
	②経費節減	○				<p>・今後とも全施設において経費削減に取り組んでいきます。</p>
	③財政改善計画の実行			○		<p>・令和元年8月に中長期検討委員会での報告書が承認され、同年11月にプロジェクトチームを発足させて、関係施設は問題点を抽出し、課題に取り組んでいます。1年以上となる新型コロナウイルスの感染症の影響が大きく、現在、新型コロナウイルスの感染症の対策に追われている状況にあります。</p>
	④サービスの質の向上	○				<p>・日々利用者のニーズに対応できるようにサービスの質の向上を図っていくことが大切です。研修会等に参加するなどして、サービスの質の向上を目指し、今後とも取り組んでいきます。</p>
	⑤関係施設間の連携及び情報収集		○			<p>・神栖支部・東村山支部での各合同支部会等で積極的な連携や情報収集を実施している。今後も地域社会に信頼される法人・施設を目標として取り組んでいきます。</p>
	⑥会計ソフトの効率的な稼働と法人本部事務局の強化		○			<p>・令和元年7月から会計ソフトの統一し、各施設及び本部事務局で取り組んでいます。現在、新会計システムで令和元年決算及び令和3年度予算、令和2年度決算を組むことができました。今後とも各施設と本部事務局の連携を強化して効率的に稼働させていきます。</p>
2	「地域における公益的取組を実施する責務」		○			<p>・社会福祉法人としての責任を果たすべく地域のニーズに応えられるように日々努力しています。今後とも行政や協議会等と協力し合い、白十字会が目指す福祉サービス等を提供できるように構築してまいります。さらに地域社会に貢献できるようにしていきたい。</p>
	①地域と連携した施設づくり		○			<p>・地域から信頼される施設をめざすために当法人の福祉・医療サービスの連携を図っています。さらに今後とも地域のニーズに応える施設づくりを目指しています。</p>
	②災害時の地域住民や関係機関との連携		○			<p>・現在福祉施設等は災害時の地域の要援護者支援という大きな役割が求められています。災害時においては、行政や関係機関と地域との役割を分担し対応できるようにしていく必要があります。各支部の一部の施設は地域の避難所とし支援し、関係機関と連携して、地域住民の支援を行ってまいります。</p>
	③安全で安心できる施設		○			<p>・福祉・医療サービスを提供し安全で安心できる施設を目指しています。そのために地域に根付いた質の高いサービスを提供できるような施設を目指しています。</p>